

一般社団法人日本体力医学会定例理事会（2025年5月）議事録

日 時：2025年5月9日（金）午後5時00分～7時15分

場 所：立命館東京キャンパス サピアタワー8階

およびZoomによるハイブリッド形式

議 長：永富良一理事長

出席者（現地）：

永富良一理事長，内藤久士，小熊祐子各副理事長，
甲斐裕子，後藤勝正，下光輝一，須永美歌子，
田畑 泉，町田修一各理事，石井好二郎監事，
家光素行第79回大会事務局長，
津田英一第80回大会長

出席者（オンライン）：

中田由夫常務理事，赤間高雄，井上 茂，岡浩一朗，
竹森 重，田村好史，内藤義彦，中里浩一，成田和穂，
檜垣靖樹，前田清司，宮下政司，宮地元彦各理事

欠席者：勝川史憲，浜岡隆文，宮川俊平各理事，

清田 寛，小林康孝各監事

【審議事項】

1. 前回議事録の承認（永富理事長）

理事会終了時までに訂正等がなかった場合には，自動的に承認されることにした。

2. 令和7年度決算見込みについて（中田常務理事）

宮川財務委員長が欠席のため中田常務理事より，資料に基づき，令和7年度決算見込みについて報告された。収入の部では「会費収入」が予算額に対して見込み額が1,800,000円ほど少ないこと，「大会開催収入」も見込み額が予算額を下回っているが，「大会開催費」も小さく抑えたため，佐賀大会は赤字決算にはなっていないことが説明された。収入62,893,381円は見込みであるが，予定通りの収入となれば，令和7年度決算見込の収支差額は，4,515,919円の赤字となる旨，説明された。審議の結果，承認された。

3. 令和8年度予算原案について（中田常務理事）

宮川財務委員長が欠席のため中田常務理事より，資料に基づき，令和8年度予算案について報告された。赤字予算となっており，会員数と会費収入の増加への取り組みの必要性について説明された。次回理事会および社員総会での予算案の審議に向けて各種委員会等からの予算に関する要望を受け付けたい旨が述べられた。審議の結果，承認された。

4. 令和8年度事業計画案について（永富理事長）

資料に基づき，令和8年度事業計画案について，各委員会から報告がなされた。審議の結果，承認され，9月の社員総会に諮ることになった。

5. 第38回日本体力医学会賞選考結果について（宮地学会賞等選考委員長）

資料に基づき，3月27日にZoomによるWeb会議での審議にて開催された学会賞選考委員会において，学会賞（体力科学），学会賞（JPFISM）および奨励賞の候補の3件を選考したことが報告された。副賞（60万

円）については，学会賞（体力科学），学会賞（JPFISM），奨励賞にそれぞれ20万円とすることが説明された。審議の結果，承認された。

【学会賞（体力科学）】

73巻-2号-2（体力科学）

黒川優介，松井公宏，岸 秀忠，宮田洋之，鈴木宏哉
「幼少期における動きの質と運動能力の関連」

【学会賞（JPFISM）】

13巻-2号-2（JPFISM）

Satoshi Matsunaga, Daiki Watanabe, Keita Kanazaki, Sumiko Matunaga-Futatsuki, Masanobu Wada
「Pre-exercise nitric oxide donor supplementation attenuates decline in muscle contractile force and ryanodine receptor proteolysis following eccentric contraction」

【奨励賞】

13巻-3号-3（JPFISM）

Yudai Nonaka, Makoto Inai, Shuhei Nishimura, Shogo Urashima, Shin Terada

「Effects of rapid or slow body weight reduction on glucose tolerance during equivalent weight loss in rats fed high-fat diet」

6. 日本体力医学会利益相反（COI）に関する運用指針およびCOI申告フォームの改定について（後藤編集委員長）

勝川利益相反委員長が欠席のため，後藤編集委員長より，資料に基づき，利益相反（COI）に関する運用指針およびCOI申告フォームの改定について説明がされた。井上総務委員長より意見が出され，付則の箇所の適切な記載の仕方については確認を取ることになった。審議の結果，運用指針および申告フォームの改定について承認された。

7. 日本学術会議法案に関する対応について（中田常務理事）

資料に基づき，日本学術会議法案に関する日本体力医学会声明を发出することが提案された。審議の結果，承認された。

8. 宮崎大会長の推薦について（井上総務委員長）

資料に基づき，田島卓也氏（宮崎大学整形外科分野准教授，スポーツ医学担当）が第81回日本体力医学会大会（宮崎）の大会長に推薦され，審議の結果，承認された。

9. 規定の改廃について（井上総務委員長）

資料に基づき，「日本体力医学会学会賞選定のための内規」の改定，および「学会運営に関する内規」「ガイドライン検討委員会規程」「学術委員会プロジェクト研究委員会規程」「プロジェクト研究委員会内規」の廃止が提案され，審議の結果，承認された。各種学会規定の改廃は原則として理事会決議事項であることが確認された。

10. 部会・若手の会のホームページの立ち上げについて
(井上総務委員長)

資料に基づき、部会・若手の会のホームページ立ち上げについて説明がなされ、審議の結果、承認された。

11. 部会・若手の会のSNSアカウントの取得・運用について
(井上総務委員長)

資料に基づき、部会・若手の会のXおよびFacebookの開設の説明がなされ、審議の結果、承認された。

12. その他

特になし。

【報告事項】

1. 各種委員会報告

1) 編集委員会 (後藤編集委員長)

(1) 「JPFMSM」誌、「体力科学」誌の投稿・掲載状況
<投稿状況> (2024年9月1日~2025年4月20日)

「JPFMSM」誌：新規投稿26編 (内海外2編)

※前年同期間：新規投稿34編

(内海外4編・特集号3編含む)

審査済 = 14編

(採択4編, 不採択9編, 投稿取り下げ1編)

審査中 = 12編 (4/20現在)

「体力科学」誌：新規投稿18編

(依頼3編, 特集号2編含む)

※前年同期間：新規投稿23編

審査済 = 9編 (採択3編, 不採択6編)

審査中 = 9編 (4/20現在)

<発行予定>

「JPFMSM」誌

○Vol. 14, No. 3 (2025年5月25日発行)

掲載論文3編

○Vol. 14, No. 4 (2025年7月25日発行)

掲載論文3編

○Vol. 14, No. 5 (2025年9月25日発行)

掲載論文4編

○Vol. 14, No. 6 (2025年11月25日発行)

Proceedings

○Vol. 15, No. 1 (2026年1月25日発行)

掲載論文3編

○Vol. 15, No. 2 (2026年3月25日発行)

掲載論文3編

○Vol. 15, No. 3 (2026年5月25日発行)

掲載論文2編

「体力科学」誌

○Vol. 74, No. 3 (2025年6月1日発行)

掲載論文3編

○Vol. 74, No. 4 (2025年8月1日発行)

特集号

2) スポーツ医学研修会委員会

(中里スポーツ医学研修会委員長)

第31回日本体力医学会スポーツ医学研修会に向けての準備を進めている。

3) 全国地方会実行委員会 (岡全国地方会実行委員長)

岡全国地方会実行委員長より、資料に基づき、地

方会の開催や予算の活用方法の柔軟な対応についての各地方会からの意見が報告された。竹森理事より、従来からの地方会の運営に関する取り決めについて説明があった。井上総務委員長より、地方会に関する学会規定の整備状況について説明があった。

2. 第79回(滋賀)大会の進捗状況

(家光第79回大会事務局長)

資料に基づき、大会の準備状況が報告された。収支計画についても説明がされた。井上総務委員長より、滋賀大会中の若手の会の会合の検討状況について報告があり、その開催費用は学会本部から支出する方針が確認された。内藤副理事長より託児所について確認があり、第78回(佐賀)大会に引き続き、託児所設置費用は学会本部から支出する方針が確認された。

3. 第80回(青森)大会の進捗状況(津田第80回大会長)

資料に基づき、大会の準備状況が報告された。

4. 日本医学会連合TEAM事業について(小熊副理事長)

資料に基づき、昨年度の提案内容をブラッシュアップして再申請の方針であること、ワーキンググループを形成して検討を進める方針の旨、説明された。

5. 健康日本21推進全国連絡協議会「連携指標」の策定について(小熊副理事長)

資料が提示され、各自内容を確認することとした。

6. 日本医学会第9回研究倫理教育研修会について(小熊副理事長)

資料が提示され、各自内容を確認することとした。

7. その他

1) 内藤義彦理事の辞任について(永富理事長)

永富理事長より、内藤義彦理事が健康上の理由により理事を辞任する意向であることが報告された。

2) 規定類の公開について(井上総務委員長)

手順について説明があり、確認された。

3) 退会届について(井上総務委員長)

現状では事務作業が増えるため、提示された様式は用いないこととなった。退会時の情報収集については継続検討する。

4) 会員情報の公開について(井上総務委員長)

会員情報のHP上の公開場所が確認された。今後公開作業を進める。

5) 部会・若手の会について(井上総務委員長)

大会事務局と連携して、企画が進められることが報告された。また、若手の会の集会については、お昼の時間を活用して軽食(費用負担は学会)が提供されることが確認された。

6) 学会が行う大会支援について(井上総務委員長)

大会支援WG(家光WG長)においてマニュアルが作成されることが報告された。また、大会の準備運営委員会に、その次の大会の代表(大会長、運営委員長、事務局長など)が参加できる旨の確認がなされた。